

富士のさと 読み聞かせ隊と自然遊び塾(出前講座)

○趣旨

幼児期における自然体験や本に触れる体験の機会を増やし、自然のもので遊んだり・触れたり、さまざまな本に触れたりすることを通して、豊かな人間性を築く基礎を培う。

○訪問した御殿場市内の幼稚園・保育園・こども園

幼稚園 8 園： 竈幼稚園，神山幼稚園，御殿場幼稚園，玉穂幼稚園，原里幼稚園，原里西幼稚園，富士岡幼稚園，森之腰幼稚園

保育園 8 園： すみれ保育園，高根第一保育園，玉穂第一保育園，玉穂第二保育園，原里第二保育園，東保育園，富岳保育園，みらい保育園

こども園 1 園： 印野こども園

○活動の流れ

1 活動を 15 分とし，3つの活動をローテーションで実施

	開始～0:15 (15 分間)		0:20～0:35 (15 分間)		0:40～0:55 (15 分間)
3 歳児	絵本読み聞かせ (室内)	移動 (5 分)	自然のものを使った 身体を動かす活動 (室外)	移動 (5 分)	自然のものを使った 創作活動 (室内)
4 歳児	自然のものを使った 創作活動 (室内)		絵本読み聞かせ (室内)		自然のものを使った 身体を動かす活動 (室外)
5 歳児	自然のものを使った 身体を動かす活動 (室外)		自然のものを使った 創作活動 (室内)		絵本読み聞かせ (室内)

○内容 (活動の様子)

(1) 絵本読み聞かせ 運営：御殿場市立図書館ボランティア

図書館ボランティアが自然に関する内容の絵本を年齢に応じて選定し，園児に読み聞かせを行った。園児たちは，絵本の世界に夢中になり，集中して話に耳を傾けていた。大型絵本を駆使し，ダイナミックな自然の風景を見せたり動物の生態の話をしたりし，自然に対する園児の興味・関心を喚起した。



(2) 自然のものを使った創作活動【ストラップ! すべラップ】 運営：中央交流の家職員

① 導入として手遊びを行った。『手はお目目，その手を望遠鏡にしてじっくりと目の前の木を見てみましょう』、『お鼻は何のためにあるのかな・・・目の前の木の匂いを嗅いでみましょう』等の遊びの活動の中で，園児が木目を観察したり，木の匂いを嗅いだりし，材料である木に興味を持つようにした。

園児からは、「家の柱と同じ匂いがする」や「スイカの匂いがする」などの声が聞かれた。

- ② 園児は紙やすりで自分の木の表面をつるつるに磨き、その後雑巾でこすり、つやを出した。途中、「となりのお友達とどっちがつるつるかな？お友達の木を触ってみよう」などの投げかけをし、園児の競争心を掻き立て、15分間集中力が切れないように工夫をした。最初は紙やすりでうまく磨くことができない園児も後半にはスムーズに磨くことができるようになった。
- ③ 15分の活動時間内では終わらない部分は園に委ねた。木を磨くだけで自然の木の味わいを活かしたり、木に絵を描き父の日のプレゼントにしたり、ひもにビーズを通して飾りつけをしたり、園独自の工夫が行われ、世界に一つだけの手作り「ストラップ！すべらっぷ」を完成させていた。



【手で望遠鏡を作り木目を観察】



【紙やすりで木の表面を削る様子】



【園独自の工夫で完成】

（3）自然のものを使った身体を動かす活動【丸太渡り&スラックライン】 運営：中央交流の家職員

園庭に丸太・竹・スラックラインをサーキット状に設置し、園児はその上を落ちないようにバランスを保ちながら渡った。丸太の配置は前半部分に平らなものを、後半部分には丸みを帯びたものを設置し、徐々に難しくなるようにした。園児たちは途中丸太から落ちて何度も何度もあきらめることなく挑戦し、ゴールを目指した。一番難易度の高いスラックラインでは友達同士で励ましの声をかけている場面が多くの園で見られた。



【丸太渡り】



【竹の上を歩行】



【先生に見守られスラックライン】

《園からの声》

- 「絵本読み聞かせ」では自然や昆虫について教えていただき、「丸太渡り&スラックライン」では体を動かす機会となり、「ストラップ！すべらっぷ」では工作することができ、バランス良く活動することができました。
- 本物の自然に触れる内容はとても素敵だと思います。
- 自然遊び塾はもう少し活動内容が長いほうが子供たちはもっと楽しめると思います。

《成果と課題》

- 出前講座を通して、幼稚園・保育園の方に中央交流の家の活動について知ってもらうことができた。
- 地域の教育資源である図書館と連携することで、新たな事業の可能性を探ることができた。
- 今年度の出前講座を振り返り、各活動の適切な活動時間、次の活動までの適切な移動・休憩時間を再度検討する必要がある。